

高速増殖原型炉もんじゅの2次系ナトリウム漏えい事故について

平成8年1月12日
動力炉・核燃料開発事業団

1. 経緯

平成7年12月8日、「もんじゅ」の2次系（Cループ）において、ナトリウム漏えい事故が発生、原子炉を手動停止した。

漏えいが発生した1次及び2次主冷却系Cループのナトリウムをドレンした後、原因究明のための準備作業と2次主冷却系の各室に飛散したナトリウム化合物の除去・清掃作業が実施されている。

2. 最近の状況

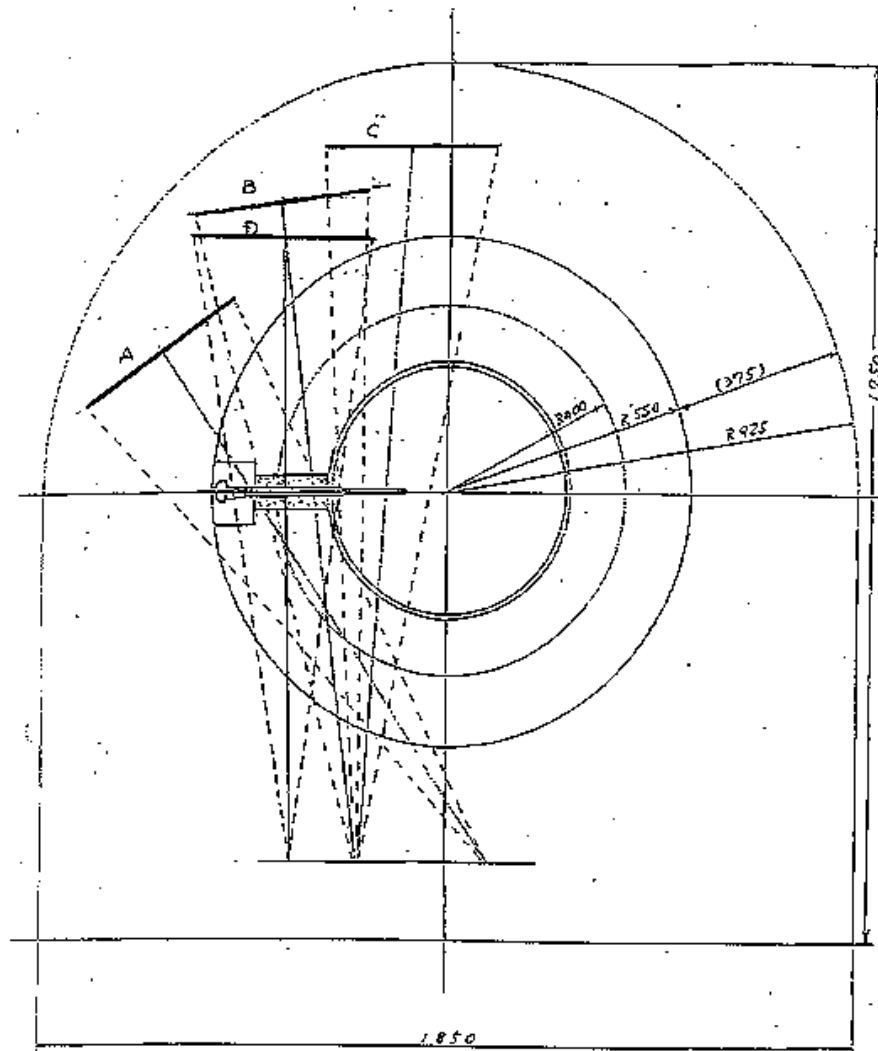
1月7日から8日にかけては、ナトリウム漏えい事故の漏えい部と見られる温度検出器近傍のX線透過撮影試験を行い、ウェル先端部の欠損と熱電対の曲がりを確認した後、9日には当該温度検出器近傍に付着したナトリウム化合物の除去作業の参考とするため、コールドレグ側温度検出器についてもX線透過撮影試験を実施した。

10日から11日にかけては、引きつづき漏えい部近傍のナトリウム化合物の除去・回収作業を実施した。

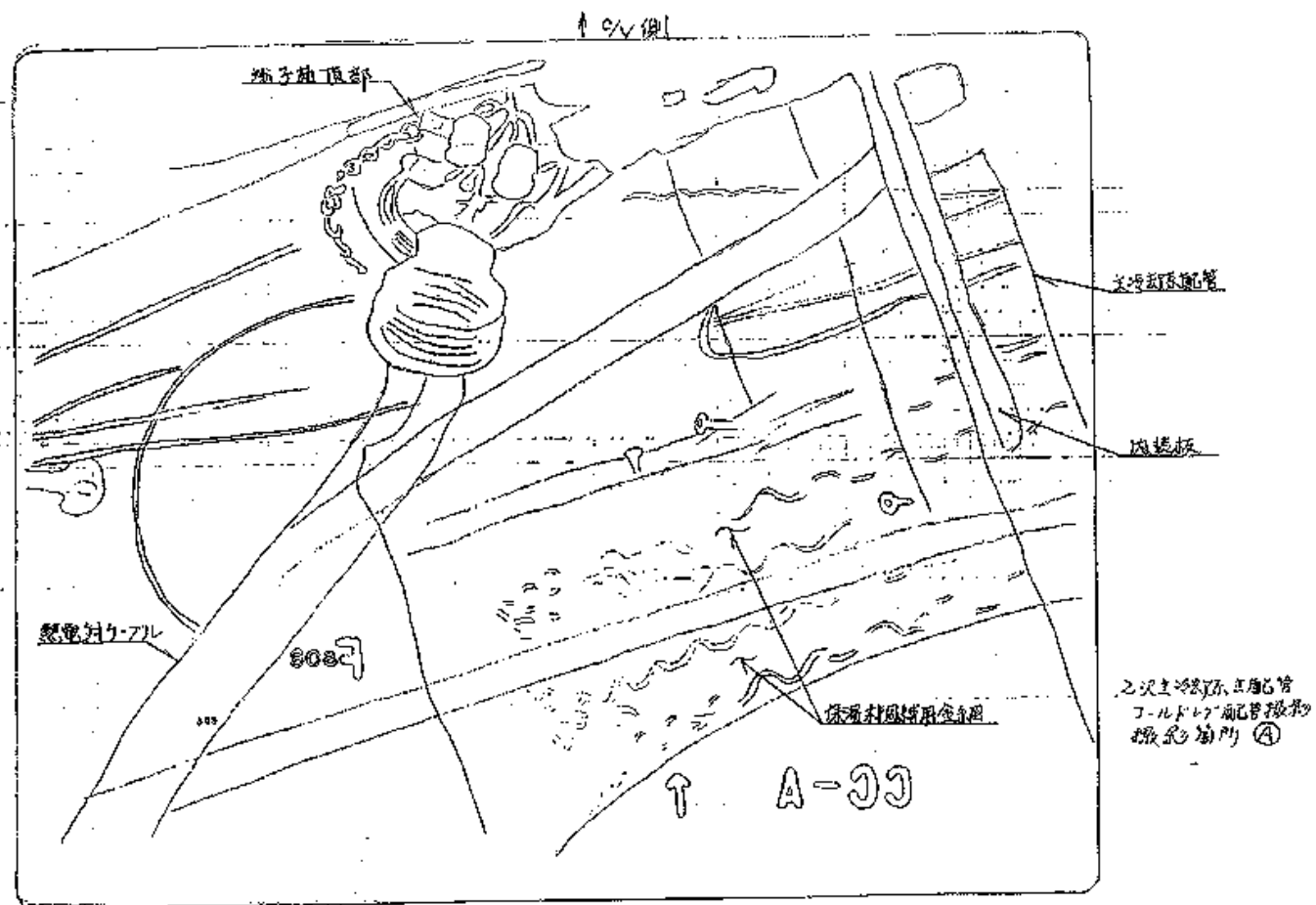
3. 今後の予定

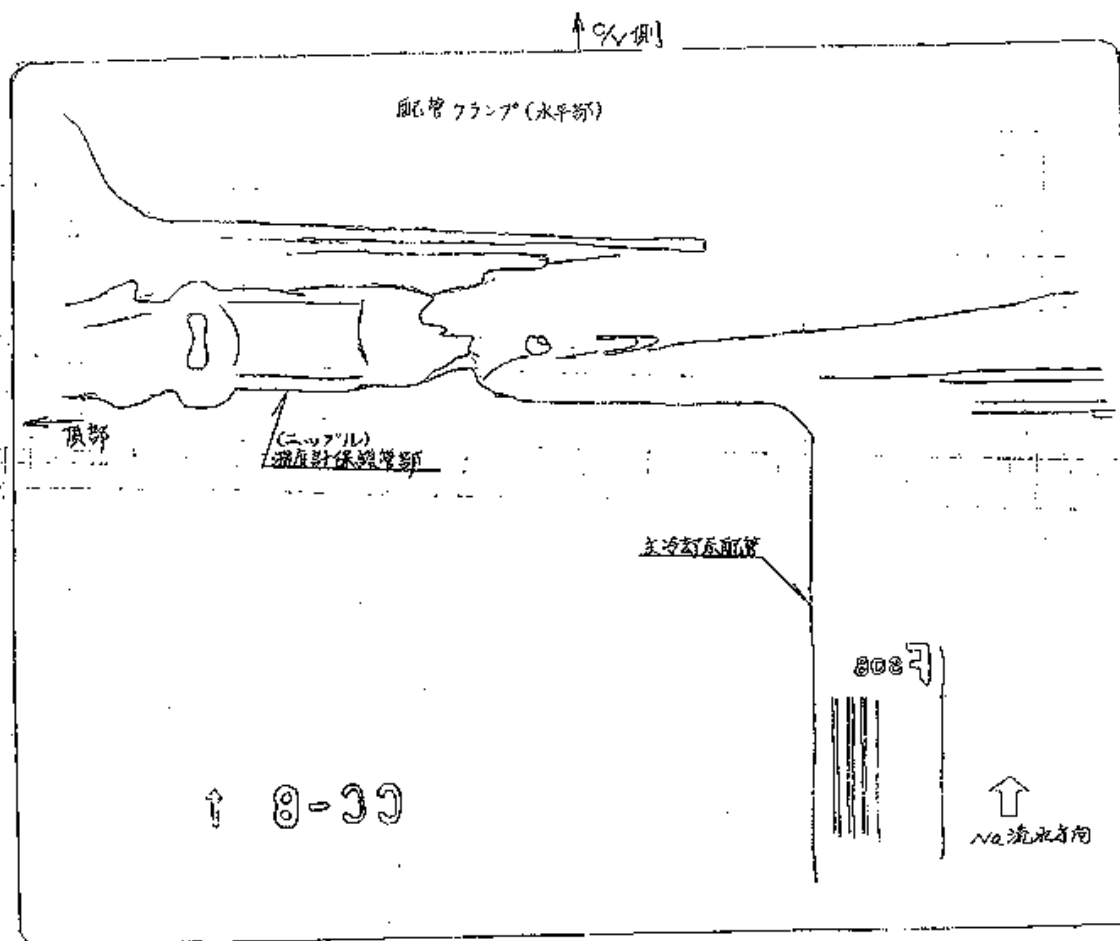
今後、漏えい部のより詳細な調査を行うため、配管保温材をはがす作業を行う等、引き続き漏えいに至った原因の究明を行う。

以上

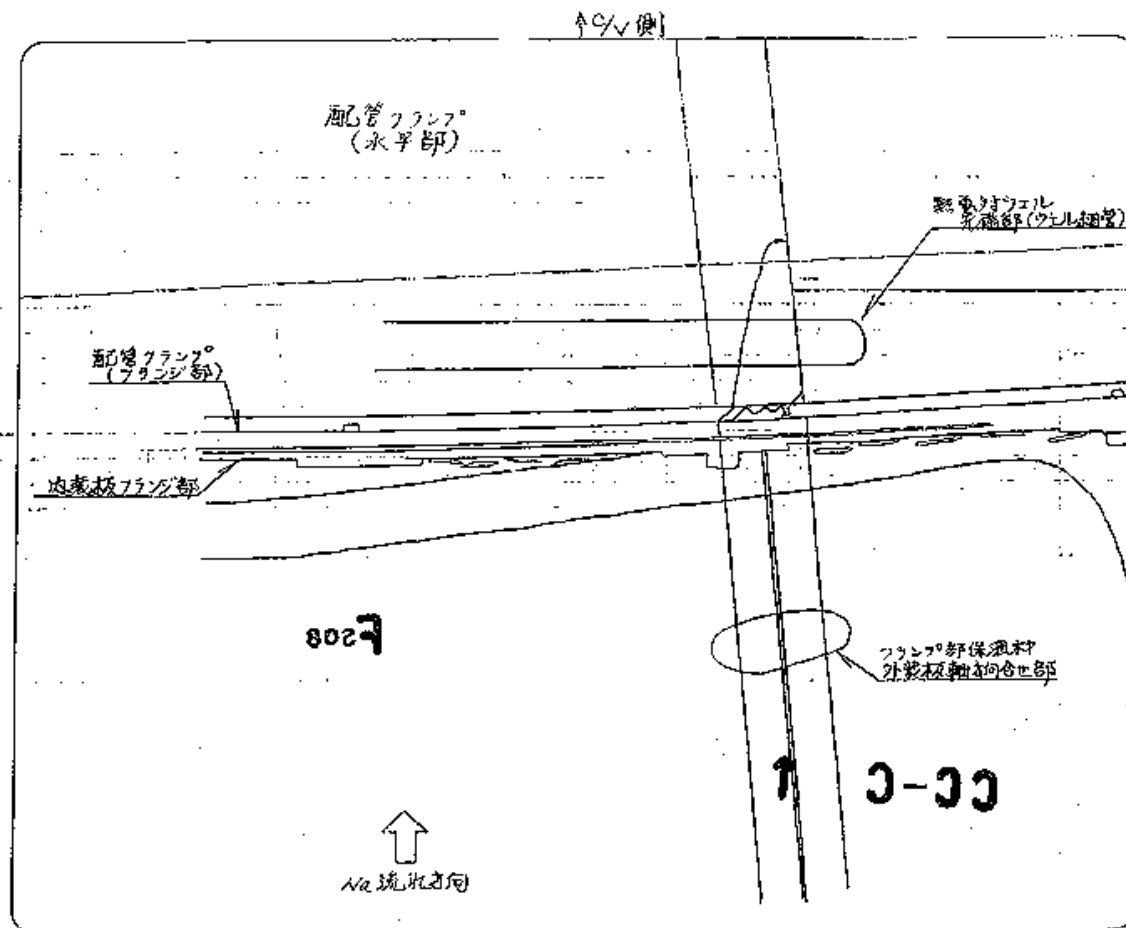


コールドレタ放射線撮影位置図





2次主冷却系主配管
コールドレ配管撮影
撮影箇所 ⑤



この図は、主配管
フルードレ配管撮影
撮影箇所 ©

乙状支線部系主配管
コールドシ配管撮影
撮影箇所⑤

熱電対端子箱
頂部

熱電対ウェル
上側端部(ウェル)

予熱ヒーター

主冷器系配管

↑ C/V 側

↑
Na 流れ方向

↑ Q-33

